

# WEB講演会

参加無料 事前登録をお願いします

男性の腹圧性尿失禁に対する保存的な選択肢としての陰茎圧迫器具について、その役割や最新の知見を防衛医科大学教授 堀口明男先生にご解説いただきます。

## 人工尿道括約筋植込が困難な 男性腹圧性尿失禁患者に対する 陰茎圧迫器具という選択



### 堀口 明男 先生

防衛医科大学校病院  
外傷・熱傷・事態対処医療センター 再建部門 教授

#### | 職歴 |

平成6年 慶應義塾大学医学部 外科  
平成8年 慶應義塾大学医学部 泌尿器科  
平成15年 防衛医科大学校泌尿器科 助手  
平成16年 米国コーネル大学泌尿器科リサーチフェロー  
平成20年 防衛医科大学校泌尿器科 講師

平成30年 防衛医科大学校泌尿器科 准教授  
令和3年 防衛医科大学校外傷再建部 部長  
令和7年 防衛医科大学校病院  
外傷・熱傷・事態対処医療センター 教授  
現在に至る

#### | 学会認定医、専門医など |

日本泌尿器科学会専門医、指導医／日本再生医療学会 認定医／日本泌尿器内視鏡学会 泌尿器腹腔鏡技術認定医  
日本内視鏡外科学会 技術認定医／日本がん治療認定医／日本医師会認定産業医  
日本泌尿器科学会 泌尿器外傷診療ガイドライン 第2版 改訂委員長  
日本泌尿器科学会 尿道狭窄症診療ガイドライン 作成委員長／日本外傷学会 臓器損傷分類委員会 作成委員  
アメリカ泌尿器科学会 泌尿器外傷ガイドライン 作成委員  
Society of Genitourinary Reconstructive Surgeons Global Fellowship Program Director

重度の男性腹圧性尿失禁に対する標準治療は人工尿道括約筋(AUS)植込ですが、カフによる尿道圧迫のため尿道への血流低下は避けられません。特に放射線治療後や尿道形成術後で脆弱になった尿道では、びらんなどの合併症リスクが高く、AUS 植込には慎重にならざるを得ません。当科では、このような症例に対して陰茎圧迫器具トメレを使用してきました。本講演では自験例を供覧しながら、AUS 植込困難例における次善の策としてのトメレの有用性について解説します。

LIVE  
配信

2026年  
10月15日(木)  
18:00~18:30



〔申込QRコード〕

こちらのQRコードから  
お申し込みください。

ご登録メールアドレス宛に  
配信 URL をお送りいたします。

(※当日参加できない方のアーカイブ申込はこちら)

主催 株式会社西山産業 医療企画部